

子どもは
水俣の宝！

子ども未来会・吉野まこと活動報告

吉野レポート No.8



090-2182-9879

yyymkto@gmail.com



ホームページ



LINE



ごあいさつ

こどもまんなかの取り組みに向けて

新年度を迎え、新しい環境で生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。私自身も、新しく会う子どもたちの名前を覚えることから、今年度をスタートしました。市議会議員としては3年目を迎えますが、この間にできること・できないこと、そしてまだできていないことが少しずつ見えてきたと感じています。日々学ばせていただきながら、水俣市の役に立てるよう尽力したいと思います。特に「子どもを真ん中に置き、地域全体が笑顔になるような取り組み」を、今後もさらに推進していきたいと考えています。

一般質問

今回はダイジェストで掲載いたします。詳しい内容は議会だよりやYouTubeを観てみてくださいね。→



Q.こども家庭センターが設置されたことでの、庁内や市内への変化はどうか。

A.こども子育て課が庁内横断の組織として設置され、「子ども子育て推進本部」や「プロジェクトチーム会議」をスタートさせた。子ども家庭センターでは、児童福祉と母子保健が一体となった相談支援体制を強化し、学校など関係機関との連携がさらに図られるようになった。子ども施策を全庁で進める土台ができたと認識している。

Q.市民や子どもたちの声の反映について、どのような意見交換の場を設け収集しているか。

A.市内の各団体代表者で構成する「子ども子育て会議」で、計画の骨子や体系内容を審議。市民アンケート、小中学生の子どもアンケートなどで広く意見を募集した。また、都市計画マスタープラン策定時の意見、水俣未来ラボでの議論も参考にしている。

Q.議会に提案されている「子ども基金設置条例」の意義や目的を教えてください。

A.子ども基金設置条例を制定することで、ふるさと納税の寄附先として「子ども施策」を指定できるようになる。子ども支援に特化した財源の確保を図り、産み育てやすい環境づくりを強化していく狙いがある。

Q.施策実施後の評価や成果確認をどのように行うか。

子ども本人の意見を聴く機会の確保と具体的な施策にどう反映するのか。

A.定期的に「子ども子育て推進本部」や「プロジェクトチーム会議」「子ども子育て会議」で評価検討を実施。総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略等の指標も活用し、客観的に点検していく。小中学生アンケートや水俣未来ラボなど、引き続き子ども当事者の意見を収集。そこから得た声を計画や施策に生かしていく方針。

Q.「水俣市 子ども真ん中宣言」を行ってはどうか。

A.第3次計画でも「地域全体で子ども若者を支え育てる気運醸成」を掲げている。他自治体の事例等も参考に、どのような形で「子ども真ん中社会」を具体化し、市民に広げていくか検討していきたい。

◆うきは市 6次産業化研究開発・事業化センター

主な内容

「うきは夢ラボ」は規格外品等の農産物の活用促進と新たな特産品開発を目的として設立されました。
平成30年度に地方創生拠点整備交付金（国1/2、市1/2）で約1億2,770万円をかけて整備されています。

成果効果

販路は「道の駅うきは」と「耳納の里」を中心に展開されており、両施設で約30億円の売上を記録しています。
農業者には商品の販売だけでなく、ピューレなどの加工前段階での商品化も可能となり、商業者の商品開発につなげられる点が特徴的です。



◆鹿児島市 都市農業センター6次産業化ラボ

主な内容

鹿児島市では「6次産業化商品開発室（6次化ラボ）」の運用を開始し、農林水産物を活用した商品開発を支援しています。
内容としては、研修会の開催（加工機器の使い方、衛生管理、商品の値決めなど）商品開発支援（補助率1/2以内）販売促進支援（補助率1/2以内）専門職員による指導などが行われています。

成果効果

試作販売が中心であるため所得向上には直接つながっていませんが、販売促進等を通じて消費者に知ってもらうことにより地域農産物のPRにつながっています。

感想

この2つの施設の視察を通じて、6次産業化は単なる商品開発支援ではなく、「農業を続けてもらうための施策」として大きな役割があると感じました。
農家が単独で取り組むのではなく、企業や飲食店との連携を強化し、より持続可能なモデルを構築することが鍵になると思います。
農家・企業・行政が連携し、持続可能な農業と地域活性化を実現する取り組みを水俣市でも進められたらと考えます。



活動スケジュール

議会や委員会の分は割愛しています。

1月

12日 はたちの集い
16日 議員研修会
21～23日 糸満・名護視察
31日 意見交換会

3月

11日 医療センター院長と語ろう
8日 ひきこもり地域支援セミナー
9日 第二中学校卒業式
15日 Stanford e-Minamata閉校式
22日 スローフード座談会
30日 中尾山さくら祭り

2月

5～6日 うきは市・鹿児島視察
8日 スポーツ少年団
ハラスメント研修
14日 スポーツ功労等表彰受賞式
23日 市民駅伝大会
26日 こどもまんなかアクション
シンポジウム

